

責任持った行動を

スペース

スペースは、東京都中央区の東京本社で2023年度の安全衛生大会を開いた。写真。社員とパートナー企業などの関係者約200人が参加し、安全第一を合言葉に



労働災害ゼロへの決意を新たに示した。

佐々木靖浩社長は「現場では最大限の注意を払いつつ、法令順守を徹底するなど責任を持った行動を心掛けていこう。安全で安心できる現場の下、クライアントが満足する空間を提供し、エンドユーザーが楽しみ、笑顔になれる空間づくりを目指そう」と呼び掛けた。

庄村香史取締役専務執行役員営業統括本部長は「事業領域を拡大すると、これまでの価値観では通用しない新しい規則に遭遇する。ともに知恵を出し合い、適応しながら成長していきたい」と述べた。

大橋一之執行役員東京本部長は「クライアントへの提供価値を高める上で、高い施工品質は不可欠だ。品質向上に向けてアイデアを持ち寄り、品質ナンバーワンを目指そう」と語った。(6・30)

